

# 出会いと感動の夢空間 坊っちゃん劇場

日本で唯一、自主制作ミュージカルを1年間上演する劇場

1年間の上演作品

ミュージカル  
**第1作 坊っちゃん!**  
脚本・演出/ジェームス三木  
日本近代文学のシンボルとも言える夏目漱石の小説「坊っちゃん」誕生100周年と重なった話題性ある作品。  
〈2006年4月～2007年3月〉公演回数／273公演 観劇者数／65,746人

ミュージカル  
**第4作 鶴姫伝説**  
作・作詞/高橋知伽江 演出/栗城宏  
しまなみ海道10周年記念作品。“瀬戸内のジャンスダルグ”鶴姫の純粋な恋、そして平和への祈りを描いた作品。  
広島公演(10公演 4,647人)  
〈2009年4月～2010年3月〉公演回数／278公演 観劇者数／87,528人

ミュージカル  
**第7作 幕末ガール** ベドクトル☆おイネ物語～  
作・作詞・演出/横内謙介 作曲/深沢桂子  
幕末～明治の時代、女性・混血児という偏見・差別を乗り越え、日本人初の女性産科医へと成長していく作品。  
〈2012年4月～2013年3月〉公演回数／264公演 観劇者数／82,947人

ミュージカル  
**第10作 鶴姫伝説**  
作・作詞/高橋知伽江 演出/栗城宏  
瀬戸内海国立公園指定80周年、しまなみ海道15周年を記念して5年ぶりに再演されたしまなみ海道の鳥々を舞台とした愛と感動の合戦絵巻。  
今治公演(9公演 8,300人) 広島公演(4公演 2,700人)  
〈2014年11月～2016年1月〉公演回数／278公演 観劇者数／81,044人

ミュージカル  
**第13作 よろこびのうた**  
脚本/羽原大介 演出/錦織一清  
第九アジア初演100周年記念作品。ドイツ人捕虜と日本人との交流、葛藤、対立、和解を描いた、現在に通じる愛と平和のエンタテインメント。  
徳島公演(7公演 4,235人) 東京公演(4公演 2,497人)  
〈2018年2月～2019年1月〉公演回数／245公演 観劇者数／66,149人

ミュージカル  
**第15作 ～おかやま 桃太郎伝説～ 鬼の鎮魂歌** レイ・エンム  
脚本/羽原大介 演出/錦織一清  
正義とは何なのか!? 何のために戦うのか!? 誰もが知っている昔話「桃太郎」。しかし、本当に鬼は悪だったのか…  
東京公演(6公演 2,584人)  
〈2020年4月～2021年3月〉公演回数／207公演 観劇者数／33,956人

ミュージカルコメディ  
**第2作 吾が輩は狸である**  
脚本・演出/是枝正彦  
四国のタスキ伝説とシェクスピアの「ロミオとジュリエット」を融合させたオリジナル作品。  
〈2007年4月～2008年2月〉公演回数／250公演 観劇者数／57,645人

ミュージカル  
**第5作 正岡子規**  
脚本・演出/ジェームス三木  
病という運命に立ち向かい、時代と青春を謳歌した子規の人生を底抜けに明るく喜劇に仕立てた作品。  
〈2010年4月～2011年3月〉公演回数／274公演 観劇者数／69,041人

奇想天外☆歌舞音楽劇  
**第8作 げんない** 一平賀源内～  
作・作詞・演出/横内謙介 作曲/深沢桂子  
夢は、追うことに意味がある!! 庶民が夢見ることが許されなかった時代に、懸命に夢を追った平賀源内のものがたり。  
香川公演(17公演 7,700人)  
〈2013年4月～2014年3月〉公演回数／279公演 観劇者数／88,369人

ミュージカルコメディ  
**第11作 お遍路さんどうぞ**  
脚本・演出/ジェームス三木 音楽/飯島優  
四国遍路で出会った若者たちと亡霊たちの、不思議で愉快な物語。  
四国巡回公演(9公演 5,452人)  
〈2016年1月～2017年1月〉公演回数／235公演 観劇者数／68,583人

ミュージカルコメディ  
**特別公演 誓いのコイン**  
作・作詞/高橋知伽江 演出/栗城宏  
2012年にロシアでも公演し、最も再演の声が多かったことから3ヵ月間限定で愛媛・ロシアオレンブルグ友好特別公演として上演。  
宇和島公演(2公演 1,633人)  
〈2019年1月～3月〉公演回数／72公演 観劇者数／17,433人

ミュージカル  
**第16作 ジョンマイラブ** ～ジョン万次郎と彼の7年～  
作・作詞・演出/横内謙介 作曲・音楽監督/深沢桂子  
皆さんが知っている冒険家としてのジョン万次郎の姿ではなく、妻・美枝と過ごした7年間で、激動の幕末に新しい文化を切り拓いていった姿を描く。  
中国巡回公演7全場、14公演 2,415人 土佐公演 4公演 1,458人 東京公演 6公演 1,614人  
〈2021年9月～2023年3月〉公演回数／337公演 観劇者数 63,060人

ミュージカル  
**第3作 龍馬!**  
脚本・演出/ジェームス三木  
四国が生んだ幕末のヒーロー坂本龍馬の商才や恋模様にもスポットを当て、その波乱の人生を描いた作品。  
高知公演(20公演 13,644人)  
〈2008年3月～2009年3月〉公演回数／283公演 観劇者数／88,019人

ミュージカル  
**第6作 誓いのコイン**  
作・作詞/高橋知伽江 演出/栗城宏  
日露戦争時の松山俘虜収容所を舞台にロシア人捕虜と日本赤十字社の看護婦との国境を越えた愛を描いた作品。  
ロシア公演(4公演 1,800人)  
〈2011年4月～2012年3月〉公演回数／279公演 観劇者数／79,976人

ミュージカル  
**第9作 道後湯の里**  
作・作詞/ジェームス三木 演出/栗城宏  
時は明治。道後の100年後を見据え、町民の大反発に屈することなく、道後温泉を建て替えた信念の人、伊佐庭如矢町長の物語。  
〈2014年4月～2014年11月〉公演回数／183公演 観劇者数／57,238人

ミュージカル  
**第12作 52days** ～愚陀佛庵、二人の文豪～  
脚本・演出/石田昌也(宝塚歌劇団)  
子規・漱石生涯150周年記念作品として、子規と漱石の愚陀佛庵での「52日間の騒動」をコミカル＆ハート・ウォーミングに描いた作品。  
東京公演(3公演 4,121人)  
〈2017年1月～2018年1月〉公演回数／236公演 観劇者数／69,158人

ミュージカル  
**第14作 瀬戸内工進曲**  
脚本/羽原大介 演出/錦織一清  
明治時代の新居浜別子銅山を舞台に、伊庭貞剛と彼の家族をモチーフにした愛と挑戦の物語。  
〈2019年4月～2020年3月〉公演回数／233公演 観劇者数／58,360人

日台野球交流100周年記念ミュージカル  
**第17作 KANO** ～1931 甲子園まで2000キロ～  
脚本/羽原大介 演出/錦織一清  
1931年、夏の甲子園決勝戦に挑んだ台湾チームがあった。幸いたのは、松山市出身の名将・近藤兵太郎。坊っちゃん劇場初の野球ミュージカル。  
〈2023年4月～2025年3月〉公演回数／439公演 観劇者数／91,045人  
中国巡回公演(14公演 2,770人) 台湾 嘉義公演(4公演 2803人)

国境を越えて紡ぐ絆 ―海外公演という挑戦 相互理解と文化交流―

ミュージカル「誓いのコイン」ロシア公演



2012年 9月14日～9月19日  
9月14日にモスクワ市の名門「マーレイ劇場」にて1公演、18日・19日にはオレンブルグ州の「国立ドラマ劇場」にて3公演を上演。全公演が満席となり、計1,800名のお客様にご観劇いただきました。終演後にはスタンディングオベーションが起きました。

ミュージカル「KANO～1931 甲子園まで2000キロ～」台湾 嘉義公演



2024年10月18日～10月20日  
物語の舞台になっている 台湾 嘉義市にて、4公演を行い、計2803名のお客様にご観劇いただきました。会場は熱気に包まれ、カーテンコールではスタンディングオベーションが起きました。

愛媛県東温市見奈良に位置する「坊っちゃん劇場」は、日本でも数少ない地域拠点型の常設劇場として2006年に設立され、2026年4月に20周年を迎えます。四国・瀬戸内圏の歴史や伝統文化、偉人の生涯を題材にしたオリジナルミュージカルを自主制作し、年間を通じてロングラン上演を行う、日本で唯一の劇場で、舞台芸術を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力を育み、情操教育の一助となることを目指しています。

舞台以外の様々な活動 坊っちゃん劇場は、地域に地域に根ざしながら学校教育活動・地域・企業・団体との文化交流活動にも大きく貢献しています。

教育支援への取組 ―演劇の力で、未来をひらく学びを―

演劇手法を活用したキャリア教育

演劇手法を用いたキャリア教育劇を創作、愛媛県内の小中学校へ出張公演を行っています。初等教育時点からの職業意識の醸成を図り、教育関係者や保護者などへも普及・拡大を進めています。



特別支援学校への教育支援

日本劇団協議会との連携により、宇和特別支援学校・中学部にて年間10回程度の演劇ワークショップを実施中。表現する楽しさやコミュニケーションの可能性を引き出す場として、今後は県内の他の特別支援学校にも展開していく予定です。



演劇スキルを活用した研修

俳優が日々鍛えている「表現力」や「伝える力」を活かした研修を、企業や教育現場、一般の方向けに提供しています。コミュニケーション力の向上やチームビルディング、自己理解の促進に役立つプログラムとして、ご好評をいただいています。

地域とともに歩む ―文化を通じて、つながりを育む活動を―

企業のCSR、MICEでの活用

地元企業がCSRの一環として、子どもたち、地域住民を招待しています。併せて、セミナーや各種教室などの開催、またMICEの場として活用されています。



にぎたつ会館協働事業

にぎたつ会館と協働で、小説「坊っちゃん」を題材にイマーシブシアターを、にぎたつ会館にて行っています。



誰もが楽しめる演劇を ―ユニバーサルな公演を目指して―

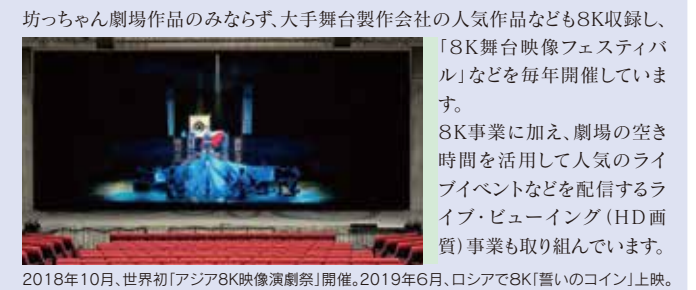
「すべての人に舞台芸術を楽しんでほしい」という思いから、ユニバーサルな観劇環境の整備に取り組んでいます。



2016年より松山盲学校の生徒を対象にした観劇会や、特別支援学校の貸し切り公演を実施。国が定める「障害者文化芸術推進法」に基づき、関係団体と連携しながら、障がいのある方々にも安心して舞台を楽しんでいただける機会づくりを進めています。2024年からは、聴覚に不自由のある方へ向けた「日本語字幕投影バリアフリーサービス」を導入。セリフや歌詞をリアルタイムで字幕表示することで、観劇の幅を広げています。さらに、英語、中国語、韓国語などの多言語字幕にも対応し、海外のお客様にも舞台を楽しんでいただける環境づくりを進めています。

8K映像技術で舞台芸術をより多くの方へ ―限りなく“生”に近い感動を―

生舞台上に限りなく近い空間を再現できる8K映像と西日本最大級となる約700インチの大スクリーンを活用して、劇場作品の高精細アーカイブ化と定期的な8K上映に取り組んでいます。



市民とともに創るミュージカル ―世代を越えて紡がれる、地域の物語―

愛媛県内4市町村および岡山県にて、市民参加型ミュージカルを制作してきました。



- 2015年8月、2018年3月 西条市民ミュージカル(計2回)
- 2016年7月、2019年7月、2023年7月 八幡浜市民ミュージカル(計3回)
- 2017年4月、2025年1月 東温市民ミュージカル(計2回)
- 2017年7月 砥部町民ミュージカル
- 2017年11月 岡山市民ミュージカル